

Mexico	X	X	—
Netherlands	X	—	—
New Zealand	—	X	—
Saar	X	X	X
Sweden	X	X	X
Switzerland	X	X	X
Thailand	X	X	X
Tunisia	X	X	X
Turkey	X	—	—
United Kingdom	X	X	X
U. S. A.	X	X	X
Viet-Nam	X	—	—

ユネスコ・クーポンはどこで取扱っているかと云うと  
日本ではユネスコ・クーポン配給機関として日本学術振

興会（東京都台東区上野公園日本学術会議内 Tel (82) 4, 522, 4, 523) が指定されている。希望者は同会ユネスコ課に申請用紙があるから、申込みばよい。これに必要な事項を記入し、同会に提出すれば審査の上 (A) は毎日、(B), (C) は一週間に1回審査をする) これを公定相場による円貨でクーポンを販売する。その際購入者は同会に対しクーポンの購入額の4%の手数料を支払うことになっている。このクーポンに購入者の住所、氏名を記入して先方に送ればよい。

なおくわしいことは同会に説明書があるから、請求すれば送ってくれる。

〔書評〕 木内信蔵・中野尊正・竹内常行・矢沢大二著  
地理年表 (1958年版)  
古今書院 B 6 版 286ページ 320円

地理学研究者・教育者・一般知識人を相手に編集された年表である。表は 111, 図は70で手頃にまとめられている。内容は、第1部自然地理・第2部人文地理に大別され、自然地理では、地球・海洋・山・氷河・低地・河川・湖沼・植生・土壌・災害・気候の各項目で 39 表 29 図、人文地理では、農業・牧畜・漁業・森林・鉱業・工業・国・都市・人口・貿易・交通の各項目72表, 41図となっている。各項目の図表には、簡単な解説がついている。付録には、先史編年表・日本の国立公園・国土計画・地理学史年表などがある。

年表や辞典のたぐいは、長年座右において使ってみて、その真価がわかるものだから、いまここで批判をすることはさけておきたいが、少し気のついたことを書いておく。

まず、ある1つの事柄、たとえば、火山とか湖沼とか森林面積とか鉱産などの項目については、もちろんその分布が一方において問題にならないときは別だが、世界と日本とについて、それぞれまとめられていることが望ましいわけである。この世界と日本との重点の置き方が、人文地理の方は比較的よくたもたれているようだが、自然地理の方は、どうも世界の方に片寄っている気がする

る。たとえば、海洋の項には日本に関したものが何もないし、植生についても同様で、まとめるのが困難なのかも知れないが、それにしても何もないのは少しものたりない。

気候に関しては、世界と日本の気候表が15, 気候図が種々とりまぜて20ある。気候表は世界と日本にわかれてかなり詳しいが、筆者の注文からいうと、月平均気温や月降水量などの数字は理科年表にゆずって、ケッペンの記号などで、できるだけ多数地点の気候を記述した方が、利用価値も高いし、紙面の割付けにも有利のように思う。また、気候図の方は、日本に関したものが1枚もない。これも、日本で発刊する地理年表としてはどうかと思う。さらに希望をつけ加えると、たとえば、緯度別や、人文地理などには国別なども必要だろうし、要するに地域別の気候要素の統計の表があるとよい。

付表として地理学史年表があるが、これなどは地理年表としてもっと力を入れてほしかった。外国と日本と欄をわけて、安井算哲・西川如見や新井白石などの重要な人の名もでてくるように、日本のことも考えて編集していただきたい。

以上、いろいろ気のついた点の要望を書いたが、総じてみるに、高校程度の学習には便利で、使い道も多いと思う。今後、次第に改訂されてゆけば、理科年表におとらない、よいものになることは間違いない。

(吉野正敏)